

4年間、多くの皆様に支えられ、ひとつ一つ、コツコツと誠実に取り組んでまいりました。子ども達が大人になっても鹿嶋市で過ごすことが出来るよう、着実に手を尽くしてまいります。国、県、他自治体、そして民間企業と連携し、多くの鹿嶋市ファンを作っていきます。

田口しんいち 市政報告

「約束を、実行で返す市政へ。」

市政は、言葉ではなく結果で信頼されるものだと考えています。この4年間、市民の声に正面から向き合い、迷わず決断し、将来の鹿嶋市のために先送りしない、最後までやり抜くことを自らの責任として歩んできました。課題から目をそらさず、現場に足を運び、対話を重ねる。そして、決めたことは必ず形にする。その積み重ねが、「鹿嶋市の未来へ」つながっていくと信じて。これからも、誠実に、実直に。市民の暮らしを前に進める姿勢を大切にしていきます。



経歴

昭和43年(1968年)鹿嶋町宮中仲町生まれ
 子鹿幼稚園、鹿嶋小学校、鹿野中学校、佐原高校、専修大学経営学部、エジプトなど8カ国巡見、山一証券勤務を経て、田回商事入社、インターネット会社設立
 2014年4月～茨城県議会議員補欠選挙初当選(以降3期)
 2022年4月～鹿嶋市長選挙 初当選(1期現職)

★青年地域活動等

- (社)かしま青年会議所理事長(第8代)
- (社)日本青年会議所 関東地区協議会会長兼常任理事
- (社)日本青年会議所 茨城ブロック協議会会長
- 全国商工会青年部連合会 情報委員会 委員長
- 鹿嶋市商工会青年部副部長、第21分団消防団
- 中小企業庁 若手経営懇談会 委員
- 鹿嶋市商い元気塾 塾長
- FMかしま ドリームサロン パーソナリティー

★教育関連

- 子鹿幼稚園 父母の会 会長、鹿島小PTA 会長
- 鹿嶋市倫理法人会会長

★行政その他関連

- 茨城県情報通信ネットワークセキュリティ協議会副会長
- 茨城県行政改革推進懇談会 委員
- 内閣府所管 NPO 地域間IX 機構 理事
- 日本インターネットプロバイダー協会常任理事
- (財)全米協認定 お米アドバイザー などを歴任

政策

「明るく心豊かに暮らせるまち鹿嶋」 ～ひとつ一つ、コツコツと、誠実に～

1. 「次世代も輝く雇用のある鹿嶋」 基幹・既存産業支援、クリーンエネルギー産業誘致、新産業と雇用の創出
2. 「暮らしやすく、生きがいのある鹿嶋」 医療体制の充実、高齢化対策地域包括センターの充実、コンパクト&スマートシティの推進
3. 「元気で賢い鹿嶋っ子育成」 教育予算の拡充と整備、無痛分娩補助制度、保護者負担の軽減
4. 「行ってみたい、暮らしてみたい鹿嶋」 神宮、スタジアム周辺開発
5. 「行財政改革」 健全財政、事実とエビデンスによる政策決定



高見国交省政務官へ
鹿嶋港振興の要望活動



片山さつき財務大臣と歓談



金子国交大臣へ
鹿行南部道路の早期開通の要望活動



額賀元衆議院議長、小松崎県議と連携



～経済と暮らしを支える港づくり全国大会～
地域の声を国政へ



市政報告会開催
市民の皆様へプレゼンテーション



フィリピンダナオ市と姉妹都市協定
(英語教育と経済交流)



ネーミングライツ契約締結式

鹿嶋市・株式会社セビジ堂

セビジ堂阿部社長と
ネーミングライツ協定調印式



大井川茨城県知事、小泉アントラーズ社長
新スタジアム建設へ向けで連携



鹿嶋市はどう変わった？

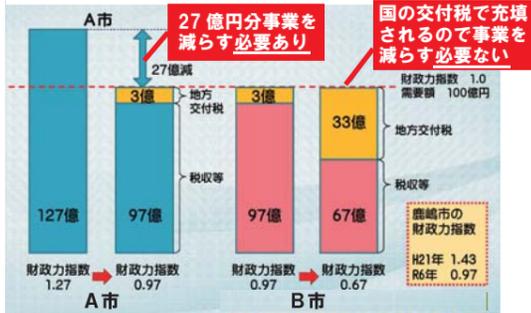
「成果は、数字が語ります。」

4年間の市政運営で何を決断し、何を執行し、どんな変化を生み出してきたのか。その答えは、「数字(ファクト)」に表れていきます。一つひとつの数字は、市民との約束を守ってきた証です。財政課題に取り組んだ4年間の結果を分かりやすくお伝えします。

なぜ？今、行財政改革が必要な？

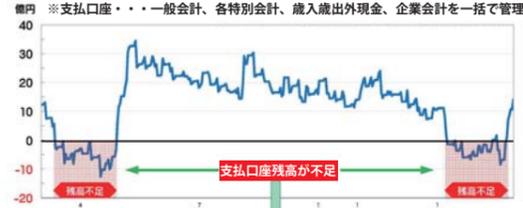
①豊かな財政という誤解

A市(財政力指数1.27→0.97)、B市(財政力指数0.97→0.67)とも、必要な予算が100億円で、それぞれ税収が30億円減ったら...



②資金ショートが起こる？！

支払口座残高の推移～令和5年度～



基金からの繰替運用で対応...主に財政調整基金から

繰替運用期間	運用基金名	運用額	最大不足額
① R5.4.11～R5.5.16	財政調整基金	15億円	▲8.2億円
② R5.5.17～R5.5.30	財政調整基金	20億円	▲12.8億円
③ R6.2.8～R6.3.28	財政調整基金	15億円	▲8.5億円



上記の理由で、鹿嶋市の財政力を考慮すると「行財政改革」が必要不可欠でした。豊かな財政という誤解を解き、資金不足による市民サービスの停止を回避し、未来への投資を可能とする行財政改革に取り組んで来ました。

その結果、どうなったの？

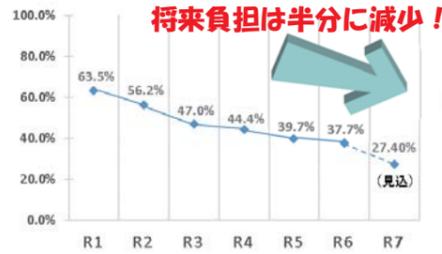
プライマリーバランス 就任来3年連続黒字！



財政調整基金 2倍増！ R5:17.7億 → R8:35.9億(見込)



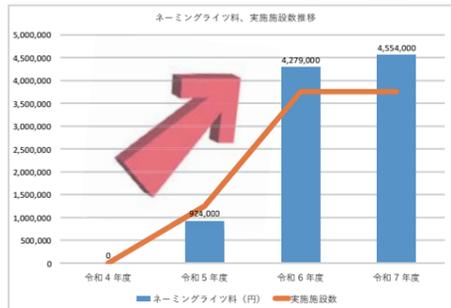
将来負担比率 将来負担は半分に減少！



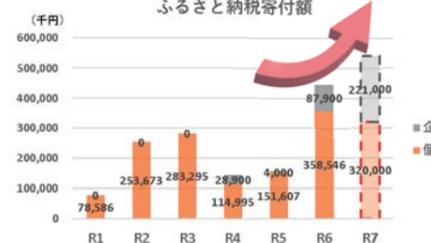
鹿嶋市の医師数(人口10万人あたり)



ネーミングライツ収入増加！



ふるさと納税寄付額 7.5倍超！



行財政改革を全職員一丸となって取り組んできた結果、大幅に改善してきました。また、市民サービスの低下を招かないように、「むり・むだ・むら」を見つけ「やめる・へらす・かえる」を検討しながら、市民の皆様の安心安全な生活が維持できるよう取り組んできました。これからの激動な時代を見据え、「未来へ借金を残さない」財政運営と「明るい未来」への投資を通じて、市民生活を守り、鹿嶋市の更なる発展を目指して市政運営をしてまいります。



～Nextかしま「挑戦!」明るく、心豊かに暮らせるまち鹿嶋～

4年間の政策実績

「決めた政策を、必ず実現する。」

市長として大切にしてきたことは、

掲げることよりも「挑戦すること」「やり切ること」「結果へ向けて努力をし続けること」。課題の大小に関わらず、必要な政策を選び、スピード感をもって実行してきました。将来の鹿嶋市を明るく灯す投資と政策が、今、動き出しています。この4年間で職員と議会と共に実現してきた政策をご紹介します。

～いのちを守る～

- 医療体制の充実 → R4:177.3人/10万人
- 新設医療機関整 → 耳鼻咽喉科開設
- 看護師学資
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 地域包括支援センター拡充
- MVMとの連携 → スポーツ長官賞受賞
- スポーツを通じた健康なまちづくり優良自治体
- スポーツによる健康づくり

～暮らしを守る～

- 子育て世帯応援商品券事業
- プレミアム付き商品券事業(新型コロナウイルス対策)
- 災害時協力
- 道路DX → 経費減、カバー率20%→60%増
- ロードマネージャー導入
- 上水道施設整備
- 荒野台雨水排水対策
- 生活インフラ整備
- 公営住宅等長寿命化計画策定
- 鹿嶋共同可燃ごみ施設稼働

私たちの安心安全

～育児の充実～

- こども家庭センターりぼん開設
- 待機児童ゼロ継続
- こども誰でも通園制度開始
- 幼稚園・保育施設再編計画

～教育の充実～

- 教育大綱の全面見直し → 全面改訂
- 学校規模適正化基準策定
- 小中一貫校開設
- 部活動の地域移行推進
- 国語・算数教育充実
- 家庭教育支援実施
- 学校給食費の保護者負担軽減策実施
- 金融教育の実施

私たちの子育て

～稼ぐぞ市役所！～

- ネーミングライツ → 年間455万円の収入増
- 子育て支援センターネーミングライツ
- 企業版ふるさと納税 → 合計2億2千万円越え(見込)
- ふるさとチョイスアワード2024受賞
- 市役所駐車場利活用
- 浄化センターへ太陽光発電導入

～経費削減市役所！～

- 市長公用車の運転委託廃止
- 市長車の見直し → 経費減、中古車へ変更
- 副市長車
- 公用車をリースから中古車へ → リース料削減
- エネオクの利用実施 → 高圧50施設でCO2ゼロ
- メルカリでの売却 → 44点約定
- 未利用市有財産の売却

～変わるぞ市役所！～

- 行財政改革の実施 → 総じて目標達成!
- 政策の整理整頓 → 127事業約2億円削減
- 全庁アンケート → 職員より200事業提案あり
- 職員提案制度 → 135件の事業改善提案あり
- EBPMによる政策決定(EBPM) → ロジックモデル導入
- EBPM 市長面談 → 年2回全部長出席にて実施
- EBPM 3課連携体制 → 政策、予算、人事を連携
- DX推進室設置
- 港湾エネルギー課設置 → 次世代クリーンエネルギー産業創出
- ふるさと納税戦略室設置 → 7.5倍のR8末5.5億見込(含企業版)
- RPA
- AI-OCR → 1,257時間削減
- 電子申請システム
- AI導入 → 生成AI、文字起こし
- コンビニ自動交付実施
- マイナ保険証利用促進
- 文化財保護デジタルアーカイブ実施
- 財政健全化達成 → 将来負担率R2年56%→27%
- 収支均衡予算 → 3年連続プライマリーバランス黒字達成
- 財政調整基金積立 → R2年度末:14億円→R8年度末:34億円
- 財政力指数 → 0.97 横ばい
- 太陽光発電課税強化 → 4年間で1億1千万増
- 申告受付の見直し
- 休日開庁の見直し
- おくやみコーナーの設置
- 鹿嶋勤労文化会館利用料金適正化

市役所改革!

鹿嶋づくり